

おたる

2011年(平成23年)7月(1)

西別院だより

季刊 第97号



盂蘭盆会

8月15日(月)・16日(火)午後1時30分より
小樽別院本堂にて勤修いたします。

お盆参り

8月6日(土)より12日(金)の間でお盆参りに伺います。
(あらかじめハガキにて、参詣日をお知らせいたします。)

納骨堂の読経

8月13日(土)より16日(火)の間は朝8時から夕方6
時まで納骨堂での読経を承ります。

盆踊り

8月6日(土)・7日(日) 於 境内 ※雨天時はホール

8月6日(土)より17日(水)まで月忌参詣を
お休みさせていただきますので、どうぞお寺にお参りください

親鸞聖人七五〇回大遠忌法要団体参拝特集

前号でも少し紹介させていただきましたが、この度の親鸞聖人七五〇回大遠忌に併せて四月・五月と京都へ団体参拝に行つて参りました。その様子を写真とともにご紹介させていただきます。



ご法要の様子



本願寺境内の様子



本願寺の門前

4月
13日~15日



参加者の声

小樽別院として最初の団体参拝でした。最前列で法要に遇えたことに感動し、車中から一足先に見えた桜もキレイでした。





参加者の声

本願寺の境内（白洲）や参拝席のつくりなど細部にまで手入れがいきとどいているのに驚きました。

できれば年内にもう一度参拝したいです。

5月
12日～15日

11月には、最後の団体参拝

ここまでの記事を読んでくださって行くかどうかどうしようかと考えあぐねていらっしやる方。行けばわかる、行かないとわからないものが今年の京都にはあります。
さあ十一月は前の二回の行程をふまえて集大成の団体参拝です。若干名参加者を募っておりますので一緒にこのたびのこのご勝縁に遇わせていただきますしよう。

日程 十一月十日（木）～十三日（日）
金額 十四万八千円

※ 詳細・お申し込みについては小樽別院
〇一三四一三二一〇七四四まで

新門さまに長子ご生誕

五月十二日（木）午後零時五十分、新門さま新裏方さまご夫妻にご長男子が誕生されました。

これを受けて本願寺では祝賀記帳所が各所に設けられ、ここ小樽別院でも祝賀記帳所を設置し職員はじめ参詣の方々にご記帳いただきました。

また、二十五日付での宗告に於いて、ご命名が【敬（たかし）】様と告知されました。

五十年に一度のご法要が勤まる中でのこのニュースは慶びもひとしおです。



編集委員座談会 東日本大震災から

「この度の震災や原発の問題に対して宗派としての見解は？」「僧侶としてのあなたの意見は？」

ある日お参りにうかがったお宅でこのような話になりました。

それまでは、一人でも多くの人が一日でも早く元通りの生活に戻ってほしい、そのためにできることを考えようということだけで過ごしていたのを深く反省しました。

最初は、「編集委員のみなさんの周りの方で被害にあった方はいらっしやいますか」ということから始まりました「みんな無事。」そこから一人一人がその思いを口にしてくださいました。

「しかし何でもかんでも想定外という言葉で片付けるのはいかがなものだろうか？」という意見があると、「わたしは義援金を納めた方々の被災地への気持ちというか関心が日に日に薄れていくのを感じます。」という意見が。

「何にしても何ヶ月かたったくらいでは何も変わっていないですし、そこ

でそれでも毎日生きていかなくちゃならないということと考えれば言葉にできない」という意見も。

被災地にはあらゆる工場があつてヨーグルトや納豆、たばこが品薄になつただけではなく、医療器具や製紙工場あらゆる業界の拠点があつたことも知りませんでした。

ここで今回の話し合いにあつて、事前に配っていた宗派での活動報告の掲載記事（本願寺新報の切り抜き）を見ながらの話になりました。

※見出しのみ欄外に掲載

「こうやってみるとお寺というものの役割が改めて大きいと思ひました」「そもそもどんな大企業の支店やコンビニよりお寺の数の方が多いんですよ、建物も本堂は仕切りのない大きな広間みたいなものだから、ネットワークというかそういうものは押し知るべしですね」「阪神大震災で助けてもらった恩を忘れず、神戸の別院が準備していたのもすごい」「やっぱり一人じゃ何もできないという

去る三月十一日の東日本大震災において、被災されたみなさま方に心よりお見舞い申しあげます。この厳しい状況の中にあつて私たちにできることはなんだろうと宗門一丸となつて取り組む中で、この度の編集会議の中でも一度じっくり現実を知り、お互いの思いを口に出して話をしてみようということになりました。

ことを、助け合うからできることがあるんだということ忘れずにいな

いとね」こうして話はつきることなく続いたのですが…。
最後に「この新聞の記事（本願寺新報）を載せよう、そしてたまにはこうして忘れないように話し合いをしていこう」ということで終わりました。2時間弱語つても尽きない思い。またいつか話しましょう（森）

御礼とご報告

※この度の震災に際しまして、門信徒のみならず、また婦人会・壮年会・青年会から小樽別院でお預かりさせていただきました義援金は六月末現在で十三万六千四百九十一円となりました。

この他、郵便局で直接振り込んでくださった方もたくさんいらっしゃいました。

ご協力ありがとうございました。

※本願寺新報より一部見出しのみ転載

- 宗派にて災害義援金募集、東北・東京教区に緊急対策本部設置
- 仙台別院で炊きだし
- 築地本願寺で帰宅困難者の受け入れ
- 会津若松市の寺院で原発事故の被災者受け入れ
- 四月八日に本願寺にて震災四十九日法要厳修
- 兵庫教区が阪神大震災以降積み立てていた義援金を東北教区に二十万円、東京教区に五百万円届ける。
- 併せて紙おむつ四百十袋と粉ミルク四百十七缶も届ける。
- 「被災地にあかりを」愛知の僧侶がお寺の蠟燭二千本とマスク七百二十枚を届ける
- 全国で被災家族や子どもの受け入れを募集。
- 宮城県の遺体安置所で読経ボランティア実施
- 岡山龍谷高校で震災で親を亡くした孤児を卒業まで無償で受け入ると発表
- 仮設住宅に生活用品セットを届ける
- 閉園した幼稚園の遊具を届ける
- 大連忌法要期間に福島県の物産品を販売し収益還元
- 宮城・岩手・福島県の三県の県知事に本願寺で預かった義援金三億円と車椅子を届ける
- 築地別院の職員が炊きだし先の福島県の農家から野菜を預かり、門前にて販売。

降誕会写真

5/7・8

境内と塀の清掃 本堂と仏具のおみがき

一冬の汚れを落とすのは一仕事。これから降誕会だからと、自分のお寺のことだからとみなさん一生懸命に作業。ご協力ありがとうございました。



5/22

降誕会当日

別院の法要の中でも一番ほほえましい雰囲気と笑顔がこぼれるのが降誕会です。初参式も、双葉高校の吹奏楽も定着し、楽しみにご参拝くださる方で本堂は活気づきました。



双葉中学・高校参拝

5/18

関連行事の最初は双葉の参拝です。リハーサルからみんな集中。ご輪番の話にじっと聞き入る姿が印象的でした



5/20

三園参拝

お寺へ参拝すること、普段とは少し違う環境で子どもは何か感じとって園へ戻っていきました。



21世紀のライフステージを創造する



特定建設業・一級建築士事務所

株式会社 福島工務店

代表取締役社長 福島 正紘

本社 小樽市若松1丁目7番18号 ☎(代) 23-3542 FAX33-2442
E-mail info@fukushima-km.co.jp URL http://www.fukushima-km.co.jp

新畳・表替・裏返・畳工事

やっぱり畳が落ち着く
生き続ける伝統の技

㊦ 木下畳店

小樽市山田町 8-6

☎・FAX 23-2245

広告募集

「おたる西別院だより」に掲載してくださる商店や業者等を募集しております。詳しくは 0134-22-0744 別院だより担当者:森までご連絡ください。

8月～9月

行事案内

○若竹説教所 彰心会報恩講 9月4日(日)午後2時 於 若竹説教所

恒例行事

○孟蘭盆会

日時 8月15日(月)・16日(火)午後1時30分より 場所 小樽別院本堂

○秋季彼岸会

日時 9月21日(水)～23日(金)午後1時30分より 場所 小樽別院本堂

○彼岸会布教

日時 9月21日(水)～23日(金)午後2時～午後3時30分より 場所 小樽別院本堂

布教師 北海道教区 十勝組 妙覚寺 脇谷暁暢師

通年行事

○総参拝 日時 毎月1日・16日午前6時30分

※毎月16日は、朝のお勤めの後、お粥があります。

○永代経法要 日時 毎日午前6時30分及び午後1時30分

○宗祖親鸞聖人月忌法要

日時 毎月15日・16日午後1時30分

常例布教(前期7日～11日・後期13日～16日)

8月

9月

前期 島根県善正寺 齋藤 断城 師
後期 愛媛県圓立寺 足利 礼子 師

前期 福井県応行寺 荻野 至 師
後期 熊本県正元寺 寺添 和南 師

小樽別院からのお願ひ

小樽別院に登録されている代表者の方の連絡先が不明になっているご家庭が増えてきております。

左記の場合には必要書類にご記入いただきご提出をお願いしておりますので必ずお寺までお申し出くださいますようお願い申し上げます。

①代表者または納骨堂管理者の転居

②代表者または納骨堂管理者が変更になる場合

※ご印鑑や印鑑登録証明・戸籍謄本、ご本人の署名が必要となる場合がございますので、ご了承いただき事前にお電話にてご連絡いただきますようお願い申し上げます。

尚、お盆・お彼岸等別院行事のある場合は、ご希望の日時での納骨やご法事等お受けできない場合がございますので、こちらも事前に別院に日程や時間をご相談ください。

お問い合わせは

電話 〇三三三(二二)〇七四四
FAX 〇三三三(二九)四〇八〇

小樽別院寺務所まで

**物品寄贈者
御芳名**

書（額縁付）
北川 暁一

ご寄贈有難うござい
ました。

書籍紹介



「京都親鸞の歩き方」
ダイヤモンド社 定価：¥880

※本願寺の説明や親鸞聖人ゆかりの地を紹介しています。多くの写真を用いていますので、解りやすくそして楽しく、聖人の生涯と時代・み教えを学べる1冊です。



「親鸞聖人のことば」
法蔵館 定価：¥1,456（税別）

※親鸞聖人の、わかりやすい名言名句を紹介しております。また、親鸞聖人のお言葉を解説を加えて書かれておりますので、読んでみてください。

3分間の心のともしび
小樽別院

テレホン法話
TEL 27-1616



●テレホン法話担当表

8/ 1(月)～15(月)	岡 崎
8/16(火)～31(水)	磯 村
9/ 1(木)～15(木)	村 田
9/16(金)～30(金)	温 井

別院門徒物故者

（平成二十三年五月末日現在）

表紙絵によせて

親鸞聖人は、仏法がひろまり世の中が安穩であることを願われました。

現代社会は様々な問題を抱え、混迷を深めております。このような時代だからこそ「世のなか安穩なれ」と言う聖人のお言葉を深く味わい、題材に選ばせていただきました。

小樽別院総代 北川 暁一

編集後記

今回の別院だよりは今まで以上の強い思いや意見交換のもと編集が行われました。先の東日本大震災については誌面を何ページさいても足りないほどに、編集委員一同考えさせられる問題がありました。また、今回は宗祖親鸞聖人七五〇回大遠忌法要の団体参拝の様子をご報告させていただきました。二つの大きな見出しを見て感じるのには、同じ思いで人間が集まると大きな力になるということでした。無線社会と言われて久しい昨今、今一度考えるべき問題なのだと思います。別院だよりや別院に対するみなさまのご意見・ご感想お待ちしております。

連絡先

本願寺小樽別院

小樽市若松1丁目4番17号 電話0134-29-4080

☎0134-22-0744

編集委員

門徒委員	別院担当者
福川ヨシ子	温井 卓生
平田 晴己	森 敬信
宮本 和枝	門上 誓淳
竹澤 知恭	

みんな仲良し
小樽幼稚園

～まこと(いのち)の保育を行っています～



当園では、浄土真宗のみ教えに基づき「いのちの大切さ」「自然への感謝」「やさしい心」を育てる保育に努めています。

又、お絵かきや工作などのクラスでの活動の他に、プール遊びや、週に2・3回クラス合同のホールでのリズム遊びなどを通し、異年齢の交流を深めており、年長から年少までみんな仲良く遊んでいます。

是非一度見学にお越しください。（年中見学可能です。事前にお電話でご連絡ください。）

- ☆**保育時間**→月曜日～金曜日(8:00～14:00/冬期間(12月～3月) 8:00～13:30)
- ☆**昼食**→お弁当～週2回/給食～週3回(パン食2回/米食1回)
- ☆**預り保育**→月曜日～金曜日(17:30迄)行います。(15:30迄は無料です/降園バス有/夏休み・冬休み(8:30～17:00))
- ☆**プール遊び**→年間を通して、温水プール遊びを行っています。(年長のみプール指導有)
- ☆**英会話**→月2回年長のみ行います。
- ☆**体操教室**→月1回年長・年中・年少に分かれて行います。
- ☆**送迎バス**→ご希望の方は、ご自宅付近まで送迎致します。
- ☆**主な行事**→花まつり・降誕会・運動会・親子遠足・バス遠足・いも掘り・報恩講・お遊戯会・おもちゃつきなど。
- ☆**ならし保育**→満2歳以上、就園未満のお子さんを対象に、毎週火曜日・木曜日に保育を行います。

園児募集中

※詳しくは、入園案内をごらんください。



詳しくはお電話でお問い合わせください。

学校法人 小樽龍谷学園 小樽市若松1丁目4番17号
小樽幼稚園 TEL/FAX 0134-22-6536